

みなさまの から より良いサービスの提供へ



みなさまからいただいたさまざまな「声」を受け止め、改善に取り組んだ事例をご紹介します。

改善事例 ① JA 共済アプリの新設



契約している共済の内容を確認するのに、JAに問い合わせたり共済証書を取り出すのが面倒。もっと手軽に確認できるようにして欲しい。



どなたでもご利用いただけるスマートフォンアプリ

「JA共済アプリ」の提供を2021年4月より開始しました。

JA共済 アプリ



JA共済アプリの機能



Webマイページへ ワンタッチでアクセス!

JA共済のWebマイページにご登録
されていれば、アプリからワンタッチ
でマイページへアクセス。
契約内容の照会等がスマホから簡単
に行えます。

Webマイページ



ご契約されているJAへ アプリからスムーズに連絡!



カメラやGPSを利用して その場ですぐに事故連絡!



健康・子育てなどの お役立ちコンテンツが満載!



改善事例 ② げんきなカラダプロジェクトをスタート

みなさまの



健康が大切なのは分かってるけど、具体的に何をすれば良いのか分からない。健康について意識し続けるためのきっかけが欲しい・・・。



2021年4月より、組合員・利用者・地域住民の皆さまの健康増進をサポートする「げんきなカラダプロジェクト」をスタートしました。

げんきなカラダプロジェクト

げんきなカラダプロジェクトとは・・・

組合員・利用者・地域住民の皆さまを対象に健康増進に役立つイベントやサービスを展開し、「よりげんきなカラダ」になっていただくことを目指すプロジェクトです。



げんきなカラダプロジェクトサイト

<https://genkara.ja-kyosai.or.jp>

●スマートフォンからもご利用いただけます。



改善事例 ③ 日常生活賠償責任特約の新設

みなさまの



自動車の事故だけじゃなくて、家族の
日常生活の中でのトラブルにも備えておきたい。



家族の自転車での加害事故など、日常生活における
賠償責任に備えられる「**日常生活賠償責任特約**」を
自動車共済の特約として2021年1月に新設しました。



日常生活賠償責任特約



日常生活の
トラブルを幅広く
保障します!



自転車で他人にケガを
させてしまった!



飼い犬が他人を噛んでケガを
させてしまった!



買い物中にお店の商品を
こわしてしまった!



自転車で転倒し、駐車中の他人の
自動車に傷をつけてしまった!



みなさまの声を活かした、これまでの改善事例



生活習慣病にかかったときの経済的負担に備えられる仕組みを作してほしい。



身近な生活習慣病のリスクに備える「特定重度疾病共済」を2020年4月に新設しました。



JA共済ホームページで掛金シミュレーションをしたが、表示される掛金が年払いの金額なのか月払いの金額なのかが分かりづらい。

ひと目で年払いか月払いかが分かるよう、共済掛金の表示に「/年」「/月」を2020年4月に追加しました。



先進医療を受ける際に、過去の治療歴により「医療機関直接払制度が利用できない」と言われました。JA共済に請求できるとはいえ、高額な治療費を一時的に用立てるのは難しい。

より多くのご加入者さまに医療機関直接払制度をご利用いただけるよう、利用条件を一部緩和しました。また新たな医療機関も加わり、全国で23の医療機関が当制度の対象となりました。(2021年4月現在)

